

河北町のあたらしい10年計画です。

第8次河北町総合計画とは、2021年度(令和3年度)からの10年間のまちづくりの指針となる計画です。

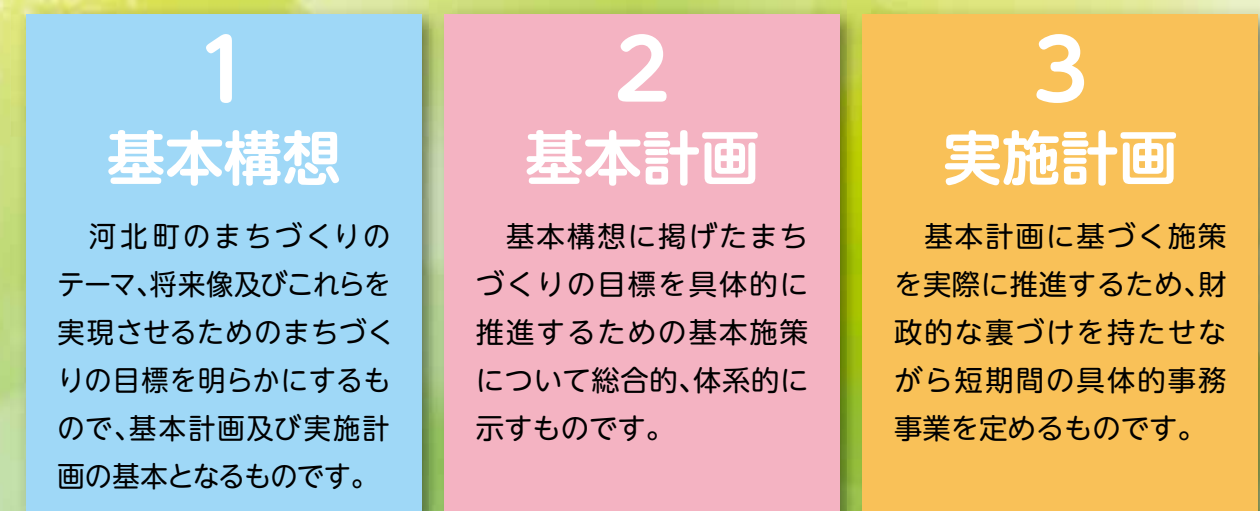
町では、本計画の基本構想と基本計画について、2019年(令和元年)6月に町振興審議会(和田多聞会長)に諮問しました。

策定にあたっては、より多くの町民の皆さんの声を反映させるため、町民二千人を対象とした町民アンケートを実施しました。また、町民及び町内金融機関に勤務する方32名で構成するまちづくり町民会議(村岡拓哉委員長)では都市整備部会、健康福祉部会、産業・教育・文化部会、互助共助のまちづくり部会の4つの部会を作りそれぞれまちづくりについて活発に話し合われました。

これらをもとに策定した基本構想と基本計画について、町振興審議会からの答申を受け、議会の議決を経て第8次河北町総合計画を策定いたしました。

本計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」をもって構成します。

第8次河北町総合計画の概要について、お知らせいたします。



年度	2021 令和3	2022	2023	2024	2025 令和7	2026	2027	2028	2029	2030 令和12
基本構想	10か年									
基本計画	5か年(前期)				見直し	5か年(後期)				
実施計画	3か年		3か年		3か年		……ローリング方式で毎年見直し			



第8次 河北町総合計画

輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち

2021年(令和3年)3月
発行 山形県河北町
山形県西村山郡河北町谷地成81番地
編集 河北町政策推進課
TEL.0237-73-2111
FAX.0237-72-7333
ホームページアドレス
<https://www.town.kahoku.yamagata.jp/>
制作 株式会社印刷



輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち

第8次 河北町総合計画

山形県 河北町
雑とべに花の里
概要版

町の将来像

「輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち」
将来目標人口 16,600人



まちづくりの目標

- 1 つながりを生む住みよい町
- 2 みんなで支えあう安全・安心な町
- 3 地域とともに健やかに暮らせる町
- 4 新たな魅力を発信しにぎわいのある町
- 5 ふるさとに学び次代につなぐ町



まちづくりへの町民の期待

- 町民アンケート
- まちづくり町民会議
都市整備部会
健康福祉部会
産業・教育・文化部会
互助共助のまちづくり部会



輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち



第1章 つながりを生む住みよい町

自然環境や景観に配慮しながら、憩いや集いを生む公園や利便性の高い道路インフラなどの整備を進めます。町内の地域同士、さらに他市町村とのつながりを生むような生活・交通環境を整え、町民が住みやすいまちづくりに挑戦します。

第1節 立地条件を活かした都市づくり

- 交通ネットワークの充実**
 - 道路の整備改良
 - 公共交通の利便性向上
 - 高校生のバス通学支援
- 生活・情報インフラの充実**
 - 下水道の整備促進・普及率の向上
 - 情報通信環境の整備活用の検討
- 計画的な土地利用**
 - 遊休農地の解消・抑制
 - 利便性の高いコンパクトな都市づくりの推進

第2節 災害に強い快適な都市環境づくり

- 災害に強く、憩いと潤いある環境形成**
 - 最上川左岸無堤区間の築堤促進
 - 公園や緑地などの適正管理
 - 町民と協働による除雪体制強化
- 未来につながる環境保全**
 - 資源循環型社会の形成
 - ごみ発生抑制
 - 低炭素で持続可能な社会づくり

第3節 若者が選ぶまちづくり

- 関係人口の創出・拡大**
 - ふるさと応援寄附の充実
 - アンテナショップと連携した関係人口創出
- 人呼び込む移住支援**
 - 移住支援の充実
 - 若者の移住定住支援
- 住み続けられる定住促進**
 - 居住環境形成による定住促進
 - 公営住宅の長寿化
 - 空き家の活用

第2章 みんなで支えあう安全・安心な町

継とべに花の里づくりを継承しながら、町民、地域、行政などが一体となり支え合い、健全な行政、財政を確立します。防災力、地域コミュニティの強化による安全で安心して暮らせるまちづくりに挑戦します。

第1節 参加と連携による安全・安心な暮らし

- 1 災害に備えた防災力の強化**
 - 災害発生時の情報共有の強化
 - 自主防災組織の強化・充実
 - 防災専門員の設置
- 2 安心して暮らせるコミュニティづくり**
 - 交通安全対策の推進
 - 地域における防犯意識の高揚
 - 空き家の適正管理

第2節 町民総参加によるまちづくり

- 1 継とべに花の里づくり**
 - 紅花資料館の充実
 - 紅花修景地の整備
 - 「継」と「紅花」にこだわったまちづくり
- 2 町民主体のまちづくり**
 - 情報発信・広聴活動の充実
 - 全町民が活躍できるまちづくり
 - 若者が集える拠点づくりの検討
- 3 地域間交流・国際交流の推進**
 - 友好都市との交流
 - 国際理解

第3節 社会の変化に対応できる行財政運営

- 1 町民の期待に応えられる行政改革**
 - 行政事務の不断の点検・効率化
 - 職員育成による行政サービスの向上
 - 公共施設における環境配慮
- 2 持続的財政運営の確保**
 - 公共施設の長寿命化・適正配置
 - 民間資金・企業版ふるさと納税・クラウドファンディングなどの活用検討
- 3 行政における高度情報技術の活用**
 - リモートワークなどの導入検討
 - マイナンバーカードの普及
 - 情報セキュリティの強化

第3章 地域とともに健やかに暮らせる町

誰もが心身ともに健やかに暮らせるよう、運動教室などの健康づくりや介護サービスの充実、結婚から出産、子育てまでを地域全体で支援します。安心して子どもを産み育てられる社会環境づくりを進め、町民が健やかにいきいきと生活できるまちづくりに挑戦します。

第1節 オールかほくで応援する子育て支援

- 1 結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援**
 - 出生、小・中学校入学の節目に支援
 - 婚姻時の記念品贈呈や新生活応援
 - 母子保健事業と子育て支援事業の連携強化
- 2 子育て環境の整備**
 - 子育てに関する情報の収集・発信
 - 男性の育児休業制度の普及・取得促進
 - 育児から教育までの一元的な相談機能の充実

第2節 互いを尊重し合う福祉のまちづくり

- 1 地域社会を基盤とした福祉体制づくり**
 - 地域福祉支援体制の充実
 - 福祉推進員の設置
- 2 いきがいと喜びを持って暮らせる高齢者支援**
 - 地域で支え合うネットワークづくり
 - 居場所づくり・生きがいづくりの推進
- 3 一人一人に寄り添った福祉サービス**
 - 障がい者の雇用・社会参加の促進
 - 福祉ボランティアの育成

第3節 健康に暮らせる保健医療環境の確保

- 1 保健体制、地域医療の充実**
 - 健康づくりの推進
 - 健康診断の充実
 - 県立河北病院と民間医療機関との連携による地域医療体制の確保
- 2 保険事業の推進と健全化**
 - 介護予防による保険財政の健全化
 - 国民健康保険税の収納率の向上

第4章 新たな魅力を発信しにぎわいのある町

町の資源や特性を生かし、農林水産業、工業、商業、観光の連携を強化し、起業や商品開発・ブランド化などにより新たな魅力を掘り起こすとともに、積極的に情報発信をします。地域経済を活性化し、雇用の場の確保や観光客数の増加による、にぎわいのあるまちづくりに挑戦します。

第1節 次代につながる農林水産業

- 1 農林水産業の所得と収益性の向上**
 - 山形県産米「はえぬぎ」・「つや姫」・「雪若丸」の栽培の推進
 - 秘伝豆などの栽培の定着化
- 2 担い手・新規就農者の育成**
 - 農産物のブランディングや販路拡大
 - 女性の農業参画の推進
 - 農地の流動化と集積の推進
 - 担い手農家・新規就農者の育成

第2節 やる気で稼ぐ仕事おこし

- 1 企業の成長と発展**
 - 花ノ木工業団地への産業立地促進
 - 最先端技術に対応した設備投資に対する支援
 - 若者の地元企業への就業支援
- 2 商業の振興と中心市街地のにぎわいづくり**
 - 中心市街地の特色ある顔づくり
 - 地域商社の活動支援
 - アンテナショップの活用推進
- 3 若者の起業支援**
 - 町独自の起業支援
 - 起業家や担い手の育成支援

第3節 地域の宝を活用した発信

- 1 観光資源の発掘・整備と発信**
 - 体験観光の推進
 - まつりの魅力向上
 - 児童動物園のリノベーション
- 2 広域連携による観光資源の整備**
 - 道の駅の再生
 - 多様な食の魅力発信
 - インバウンド誘致
- 3 若者の起業支援**
 - 町独自の起業支援
 - 起業家や担い手の育成支援

第5章 ふるさとに学び次代につなぐ町

家庭・地域・学校などが連携し、幅広い年代での交流、教育、生涯学習、スポーツなどの活動を推進します。町民みんなで子どもたちの豊かな人間性を養い郷土愛の醸成を進め、歴史と文化を継承し、次代に想いをつなぐまちづくりに挑戦します。

第1節 家庭・地域と連携した学校教育

- 1 地域とともに育む学校教育**
 - 教育振興計画の推進
 - よりよい教育環境の構築・検討
 - 小・中学校におけるコミュニティ・スクールの導入
 - タブレット端末等の効果的な活用
- 2 特色と魅力ある高校教育への支援**
 - 谷地高等学校との連携強化
- 3 安全でおいしい学校給食**
 - 安全で安心できる給食の提供
 - 学校給食を通じた食と農の教育

第2節 地域に根ざした生涯学習

- 1 多様な生涯学習の振興**
 - 生涯学習推進体制の連携促進
 - 青少年団体や指導者の育成推進
 - 外国語の習得や普及推進
- 2 活力ある生涯スポーツ**
 - 既存スポーツ施設の大規模改修等
 - 町民総参加のスポーツ大会の開催

第3節 歴史と文化の継承

- 1 芸術文化の振興と発信**
 - サハトべに花を核とする魅力ある文化活動の充実・発展
 - 全天候劇場プラネタリウムの活用・発信
 - 地域のまつりや郷土芸能の承継・保存
- 2 多様な伝統文化の継承**
 - 文化財の調査・指定・発信
 - 史跡を解説する説明板の設置

数値目標一覧

計画の進捗管理については数値目標を設定し、その達成度と成果について評価検証を行います。数値目標は、将来に向かって数値を伸ばしていくものと、数値の悪化を食い止める2つの視点があります。

基本目標	節	項目	現状	中間目標年度 (R7年度)	最終目標年度 (R12年度)
第1章 つながりを生む住みよい町	第1節 立地条件を活かした都市づくり	町営バス等利用者数	16,701人	17,000人	17,500人
		公共下水道水洗化率	82.3%	82.8%	83.4%
	遊休農地面積	2.6ha	4.3ha	4.6ha	
第2章 みんなで支えあう安全・安心な町	第2節 災害に強い快適な都市環境づくり	雪押し場数	48か所	51か所	54か所
		一人あたりごみ排出量	803g	770g	765g
	関係人口	41,162人	47,000人	48,000人	
第3章 地域とともに健やかに暮らせる町	第3節 若者が選ぶまちづくり	若者(20歳~39歳)人口	3,014人	2,800人	2,500人
		転入者数-転出者数	△156人	△20人	△15人
	県外からの移住相談件数	119件	150件	150件	
第4章 新たな魅力を発信しにぎわいのある町	第1節 参加と連携による安全・安心な暮らし	自主防災組織防災訓練実施率	68.5%	80.0%	90.0%
		交通事故発生件数(人身事故)	66件	50件	40件
	第2節 町民総参加によるまちづくり	谷地ひなまつり来場者数	1,535人	1,700人	1,800人
第5章 ふるさとに学び次代につなぐ町	第3節 社会の変化に対応できる行財政運営	谷地ひなまつり来場者数	50,000人	85,000人	90,000人
		広聴事業参加団体数	25団体	27団体	27団体
	次世代型公用車導入台数	7台	10台	14台	
第1章 つながりを生む住みよい町	第1節 オールかほくで応援する子育て支援	用紙購入量	2,649千枚	2,500千枚	2,400千枚
		経常収支比率	92.0%	94.3%	90.9%
	マイナンバーカード交付率	10.5%	100%	100%	
第2章 みんなで支えあう安全・安心な町	第2節 互いを尊重し合う福祉のまちづくり	合計特殊出生率	1.46	1.71	1.80
		出生数	88人	120人	120人
	婚姻数	43件	50件	55件	
第3章 地域とともに健やかに暮らせる町	第3節 健康に暮らせる保健医療環境の確保	男性育児休業取得数	1件	5件	10件
		福祉推進員設置地区数	60地区	108地区	108地区
	高齢者の居場所となる拠点の利用者数	4,185人	5,800人	6,400人	
第4章 新たな魅力を発信しにぎわいのある町	第1節 次代につながる農林水産業	特定健診受診率	50.6%	60.0%	60.0%
		メタボリックシンドロームの該当者・予備群割合	27.4%	23.0%	23.0%
	後期高齢者一人あたり医療費	726千円	695千円	694千円	
第5章 ふるさとに学び次代につなぐ町	第2節 地域に根ざした生涯学習	農業算出額	564千円	592千円	622千円
		担い手農家数	151人	150人	150人
	新規就農者数	4人	6人	8人	
第1章 つながりを生む住みよい町	第2節 やる気で稼ぐ仕事おこし	花ノ木工業団地分譲率	86.4%	92.6%	100%
		年間商品販売額	2,068千円	2,110千円	2,173千円
	起業数	4件	5件	6件	
第2章 みんなで支えあう安全・安心な町	第3節 地域の宝を活用した発信	観光客数	705,300人	775,500人	800,000人
		谷地どんがまつり来場者数	82,500人	87,000人	90,000人
	広域連携観光事業数	17件	22件	25件	
第3章 地域とともに健やかに暮らせる町	第1節 家庭・地域と連携した学校教育	自分にはよいところがある小学6年生と思う児童生徒の割合	78.4%	80.0%	80.0%
		学校給食における町産食材の使用率	18.5%	25.0%以上	25.0%以上
	地区公民館利用者数	37,969人	37,000人	37,000人	
第4章 新たな魅力を発信しにぎわいのある町	第2節 地域に根ざした生涯学習	人口一人あたりの図書貸出冊数	4.3冊	4.3冊	4.5冊
		体育施設利用者数	93,809人	93,000人	94,000人
	全天候劇場入場者数	6,121人	7,000人	7,000人	
第5章 ふるさとに学び次代につなぐ町	第3節 歴史と文化の継承	史跡説明板設置数	72件	74件	76件